

SEPTENI

2021年9月期

第4四半期（通期）決算説明会

2021年10月28日

株式会社セプテーニ・ホールディングス

- 01 2021/9期 通期レビュー
- 02 四半期連結決算概要
- 03 デジタルマーケティング事業
- 04 メディアプラットフォーム事業
- 05 中期経営方針および業績予想について
- 06 補足資料

2016年9月期より、従来の日本基準に替えてIFRSを適用しております

従来の「売上高」は参考情報として任意開示とする一方、IFRSに基づく指標として「収益」を開示しております
デジタルマーケティング事業の大半を占める広告代理販売における収益は、マージン部分のみの純額計上となります

事業の実態をより適切に表現するため、「Non-GAAP営業利益」を任意で開示しております

Non-GAAP営業利益とは、IFRSに基づく営業利益から、株式報酬費用、減損損失、固定資産の売却損益等の一時的要因を調整した恒常的な事業の業績を測る利益指標です

本資料の数値は、単位未満を四捨五入して表示しております

01

2021/9期 通期レビュー

前年同期比で増収、大幅増益、収益は過去最高を更新

連結

収益 21,384百万円 (YoY+19.2%)

Non-GAAP
営業利益 3,796百万円 (YoY+54.8%)

デジタル
マーケ
ティング
事業

COVID-19による環境変化への適応により、増収増益

収益 **18,869**百万円 (YoY+**19.4%**) Non-GAAP
営業利益 **6,991**百万円 (YoY+ **33.2%**)

メディア
プラット
フォーム
事業

増収が継続、赤字幅は新セグメントへの投資を除くと縮小

収益 **2,885**百万円 (YoY+**16.0%**) Non-GAAP
営業利益 **-1,110**百万円 (YoY 154百万円
赤字拡大)
うち新セグメントへの投資額 203百万円

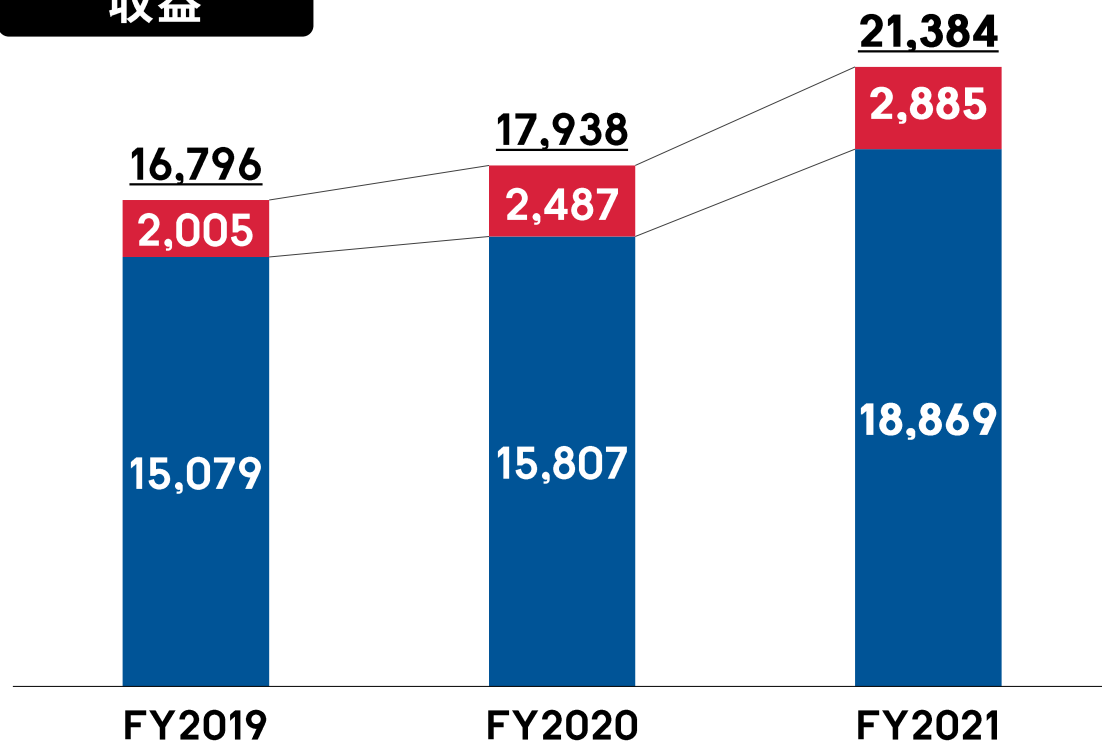
各業績項目において、修正後の業績予想付近で着地
売上は前年同期比+27.6%の高成長

(単位：百万円)	2021年 9月期 通期			2020/ 9期 通期		2021年 9月期 通期業績予想	進捗率
	金額	比率	前年同期比	金額	比率		
収 益	21,384	100.0%	+19.2%	17,938	100.0%	21,500	99.5%
売上総利益	17,285	80.8%	+18.4%	14,596	81.4%	—	—
販売管理費	13,745	64.3%	+13.1%	12,156	67.8%	—	—
Non-GAAP営業利益	3,796	17.8%	+54.8%	2,452	13.7%	4,000	94.9%
営業利益	3,650	17.1%	+60.5%	2,274	12.7%	—	—
親会社の所有者に 帰属する当期利益	2,604	12.2%	+77.8%	1,464	8.2%	2,850	91.4%
【参考】売上高	97,606	—	+27.6%	76,489	—	—	—

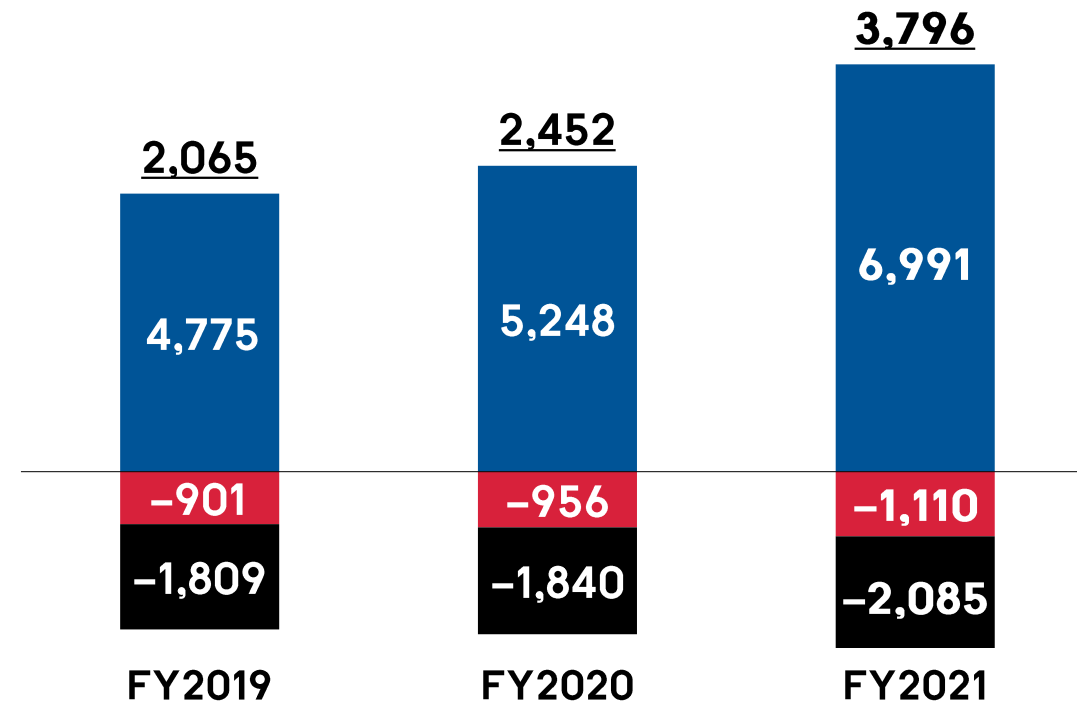
デジタルマーケティング事業を中心に成長が加速

■ デジタルマーケティング ■ メディアプラットフォーム ■ 調整額（全社費用等）（単位：百万円）

収益



Non-GAAP営業利益

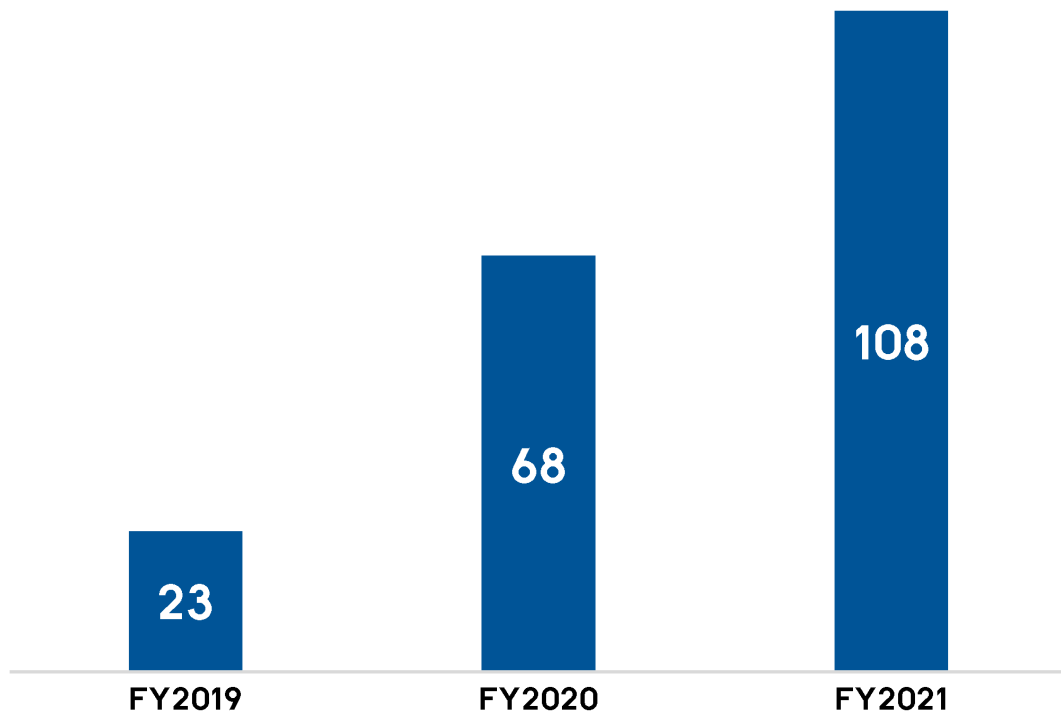


※セグメント間収益の消去分の記載を省略しているため、各事業収益の合計と連結収益（下線付数値）は一致しない

電通協業顧客数および国内ブランド広告が順調に進捗

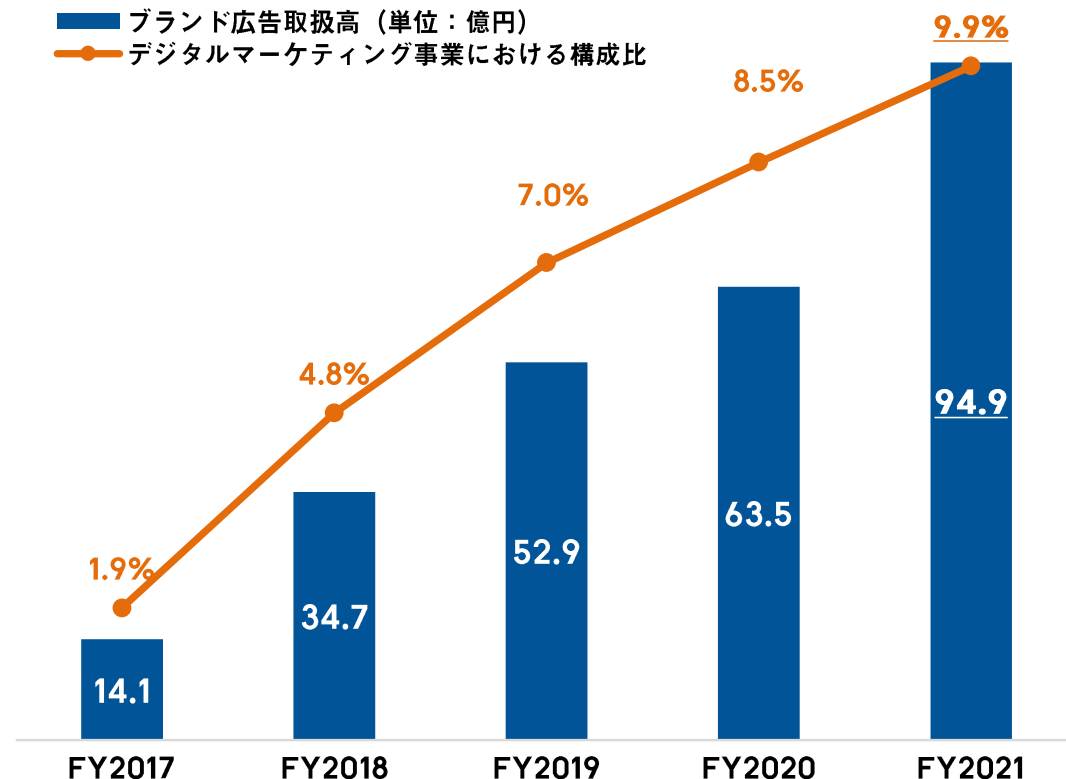
電通グループ協業顧客数

■ 電通グループ協業顧客数



国内ブランド広告取扱高

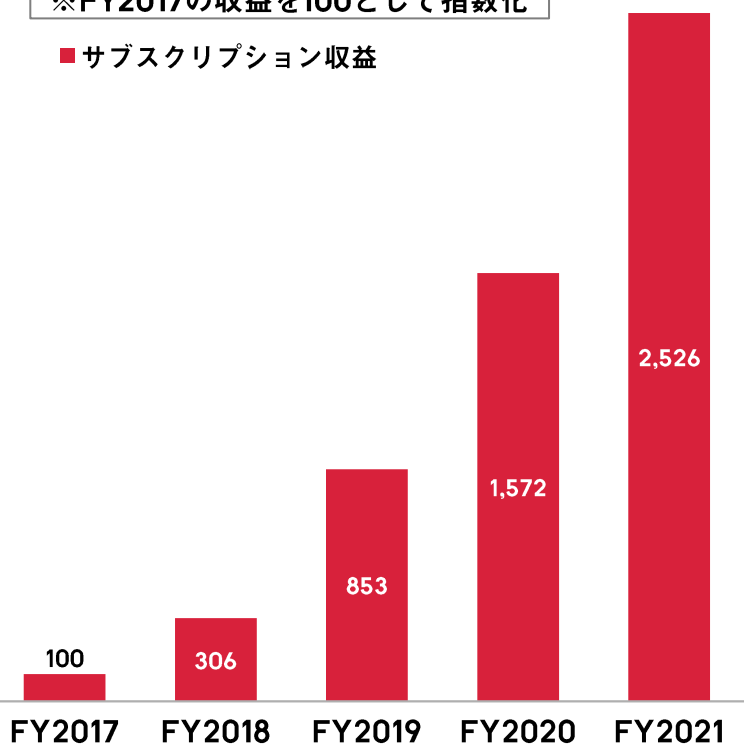
■ ブランド広告取扱高 (単位: 億円)
 ● デジタルマーケティング事業における構成比



GANMA!におけるサブスク収益、コマース収益が着実に成長 D2C事業の収益も順調に拡大

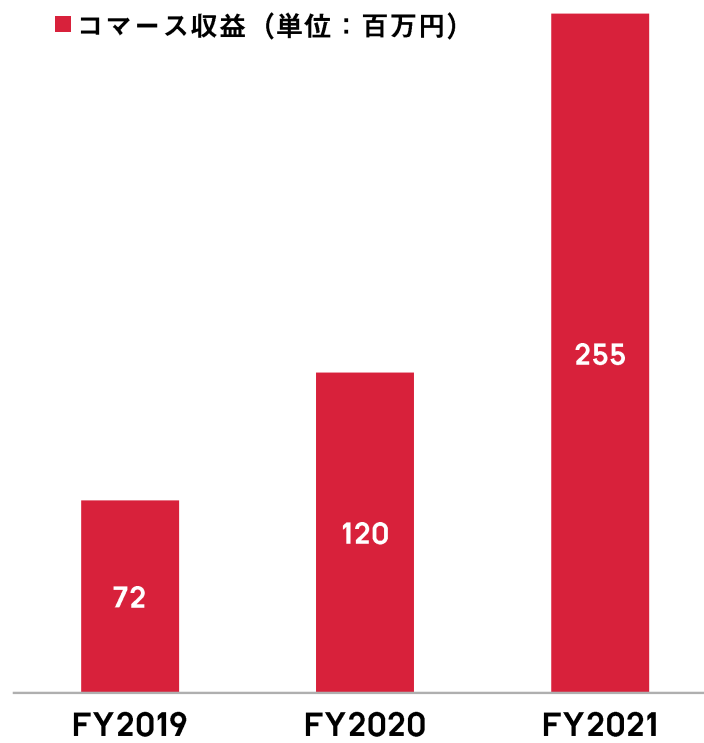
GANMA!
サブスクリプション収益

※FY2017の収益を100として指数化
■サブスクリプション収益



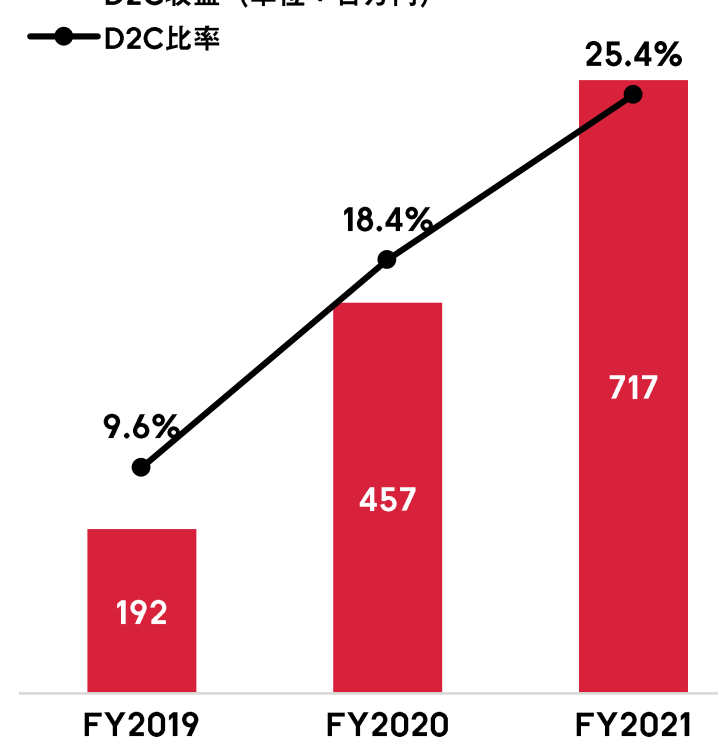
GANMA!
コマース収益

■コマース収益 (単位：百万円)



D2C収益

■ D2C収益 (単位：百万円)
● D2C比率



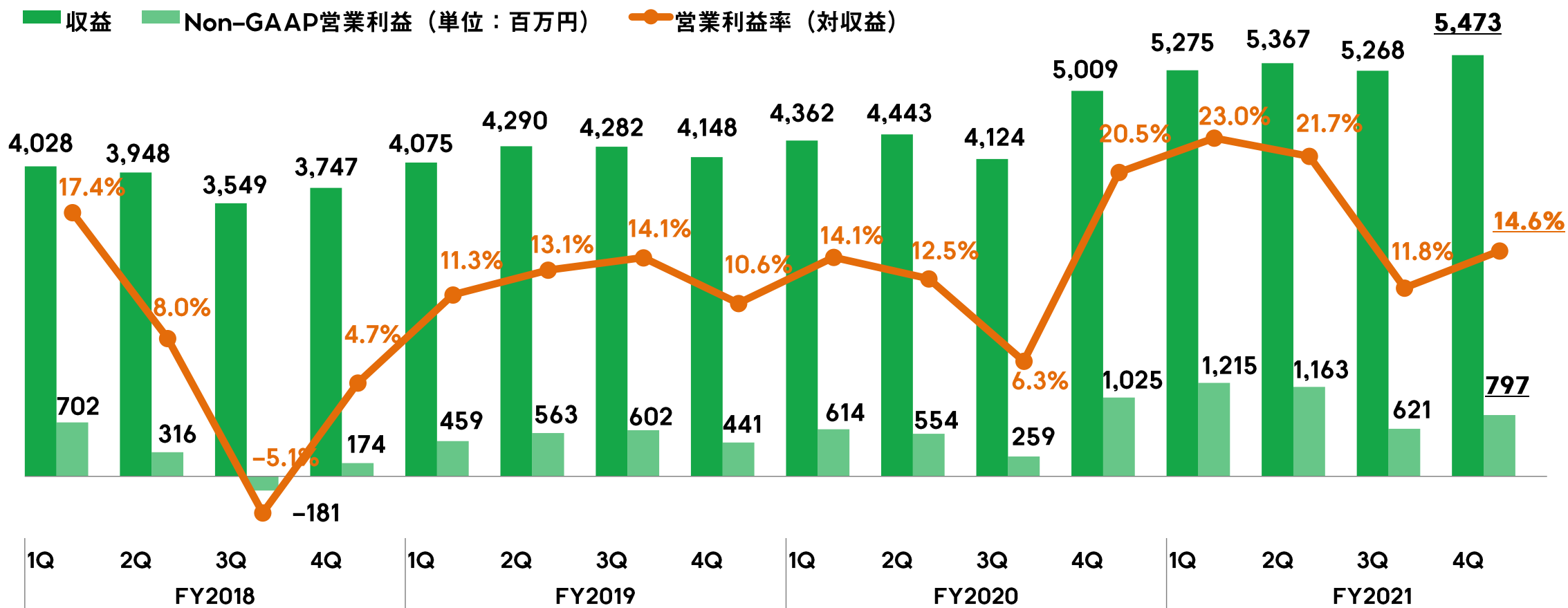
02

四半期連結決算概要

売上、収益は順調に拡大するも、一時費用等により減益

(単位：百万円)	2021年 9月期 4 Q			2020/ 9期 4 Q	
	金額	比率	前年同期比	金額	比率
収 益	5,473	100.0%	+9.3%	5,009	100.0%
売上総利益	4,394	80.3%	+6.1%	4,140	82.7%
販売管理費	3,711	67.8%	+18.9%	3,121	62.3%
Non-GAAP営業利益	797	14.6%	-22.2%	1,025	20.5%
営業利益	445	8.1%	-55.9%	1,008	20.1%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	350	6.4%	-48.6%	681	13.6%
【参考】売上高	26,358	—	+20.9%	21,804	—

収益は過去最高を更新、営業利益率は回復



13 連結費用構成 (IFRS)

案件拡大によりクリエイティブを中心に外注費が増加

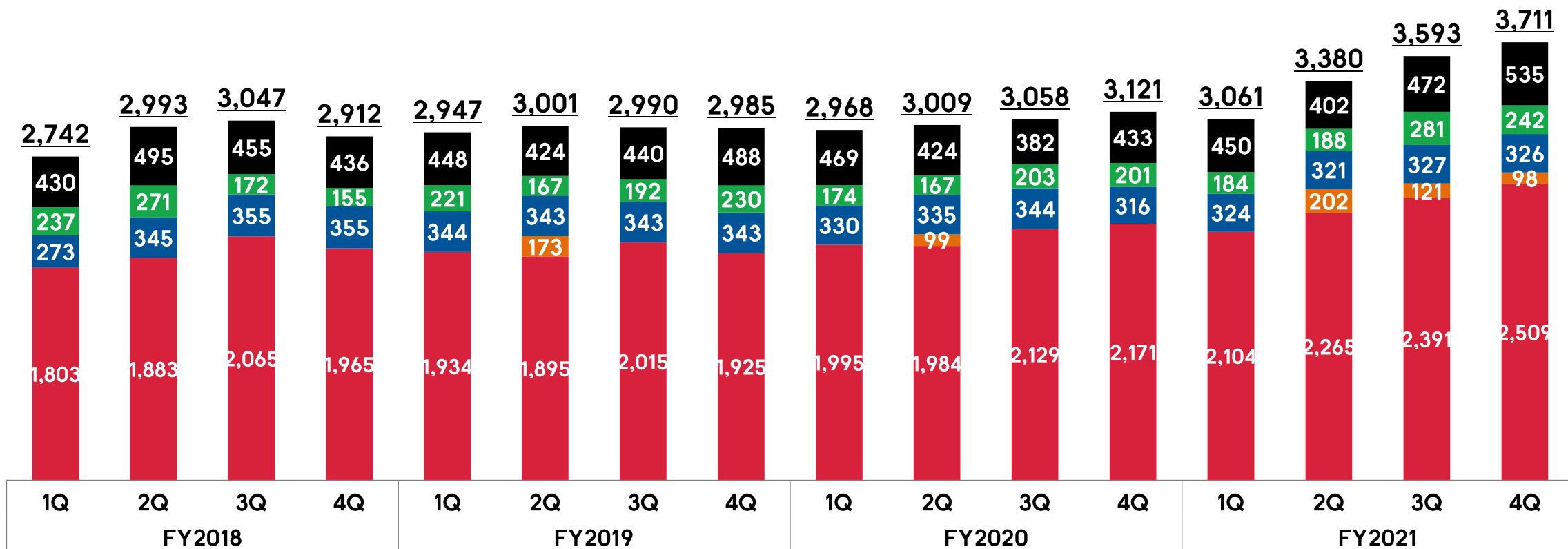
(単位：百万円)	FY2020				FY2021				QonQ	YonY
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
売上原価合計	810	853	810	869	1,005	939	1,076	1,079	+0.3%	+24.1%
人件費	251	257	268	287	296	321	347	344	-1.0%	+19.9%
外注費	118	131	138	84	240	167	204	244	+19.5%	+192.1%
その他	441	465	404	499	468	451	525	491	-6.4%	-1.6%
販管費合計	2,968	3,009	3,058	3,121	3,061	3,380	3,593	3,711	+3.3%	+18.9%
人件費※	1,995	1,984	2,129	2,171	2,104	2,265	2,391	2,509	+4.9%	+15.6%
追加決算賞与(確定)	—	99	—	—	—	202	121	98	-18.9%	—
賃借料等	330	335	344	316	324	321	327	326	-0.3%	+3.3%
販促費・広告費	174	167	203	201	184	188	281	242	-13.8%	+20.4%
その他	469	424	382	433	450	402	472	535	+13.3%	+23.5%

※FY2020/1Q、2QおよびFY2021/2Q以降はNon-GAAP営業利益への調整項目である株式報酬(BIP信託)を人件費として見積計上

14 連結販管費四半期推移

業績の進捗に伴い、追加決算賞与等により人件費を中心に増加

■ 人件費 ※ ■ 追加決算賞与 ■ 賃借料等 ■ 広告宣伝費 ■ その他 (単位: 百万円)



※FY2020/1Q、2QおよびFY2021/2Q以降はNon-GAAP営業利益への調整項目である株式報酬 (BIP信託) を人件費として見積計上

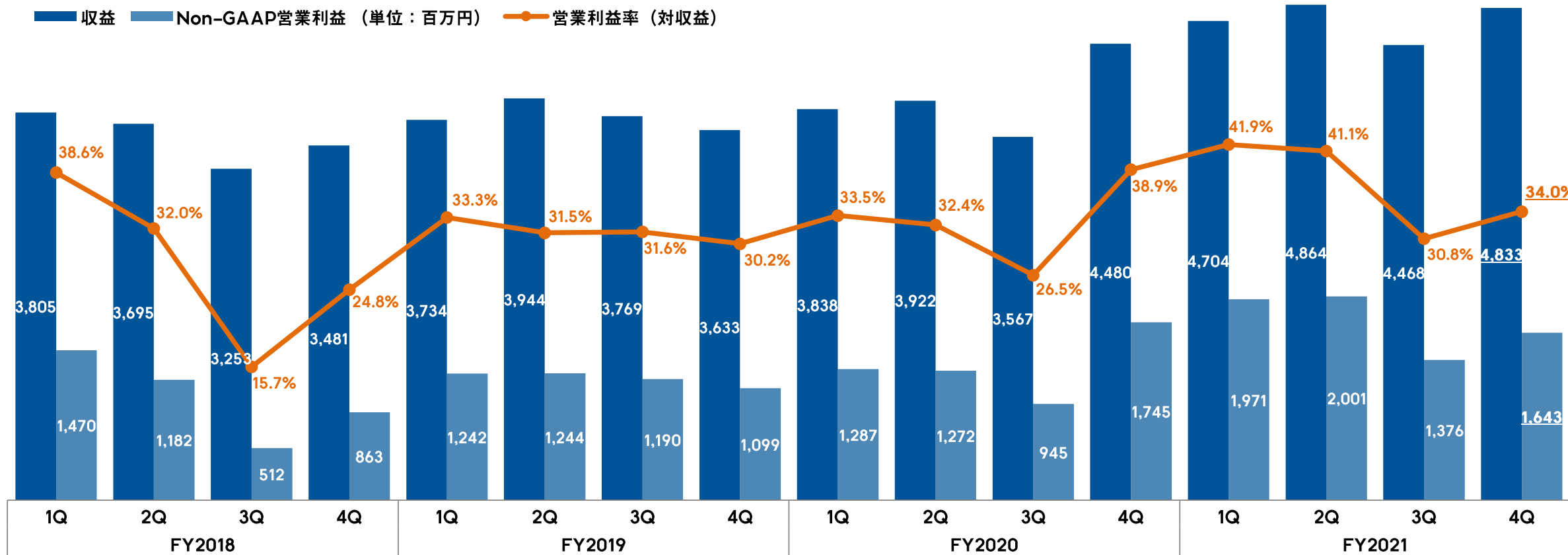
03

デジタルマーケティング事業

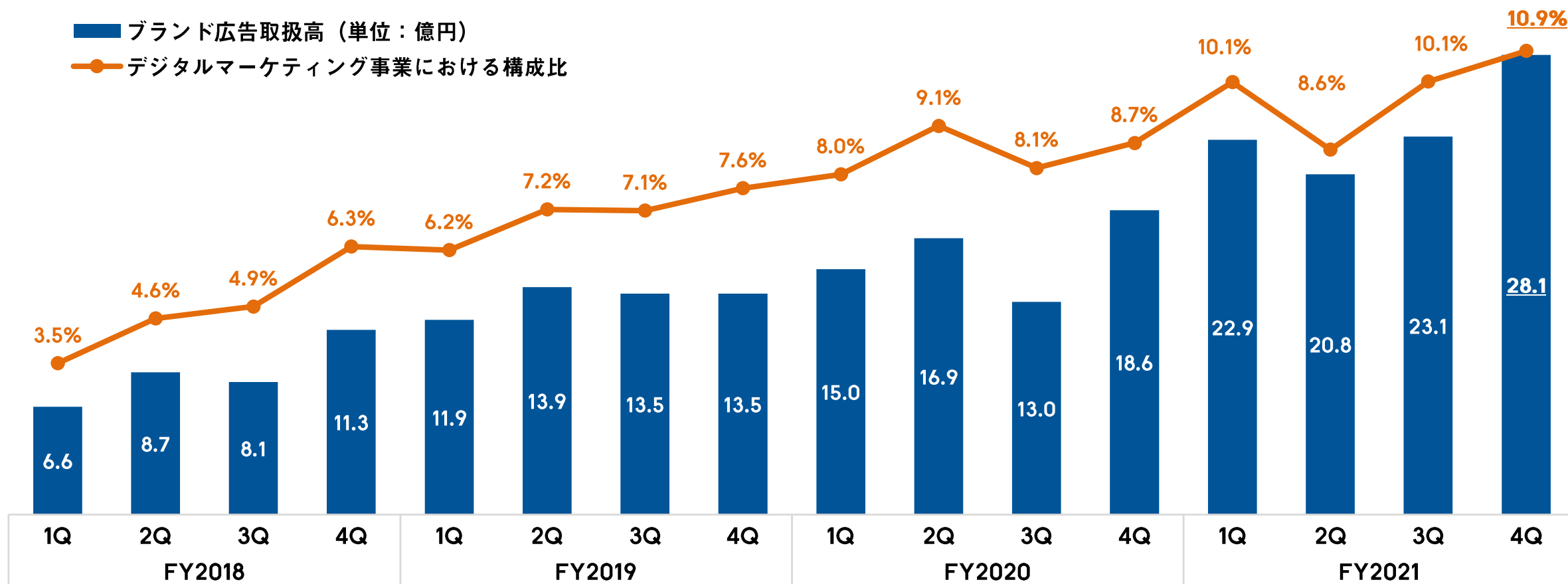
売上はYonY20%超の成長、通期予想に対してはほぼオンラインで着地

(単位：百万円)	2021年9月期 4Q			2020/9期 4Q		2021/9期 通期業績予想	達成率
	金額	比率	前年同期比	金額	比率		
収 益	4,833	100.0%	+ 7.9%	4,480	100.0%	18,800	100.4%
売上総利益	4,097	84.8%	+ 5.2%	3,895	86.9%	—	—
販売管理費	2,562	53.0%	+ 18.8%	2,156	48.1%	—	—
Non-GAAP 営業利益	1,643	34.0%	- 5.8%	1,745	38.9%	7,050	99.2%
【参考】売上高	25,839	—	+ 20.8%	21,393	—	—	—

前年同期比でのハードルは上がりつつも増収ペースを保ち
成長モメンタムが持続

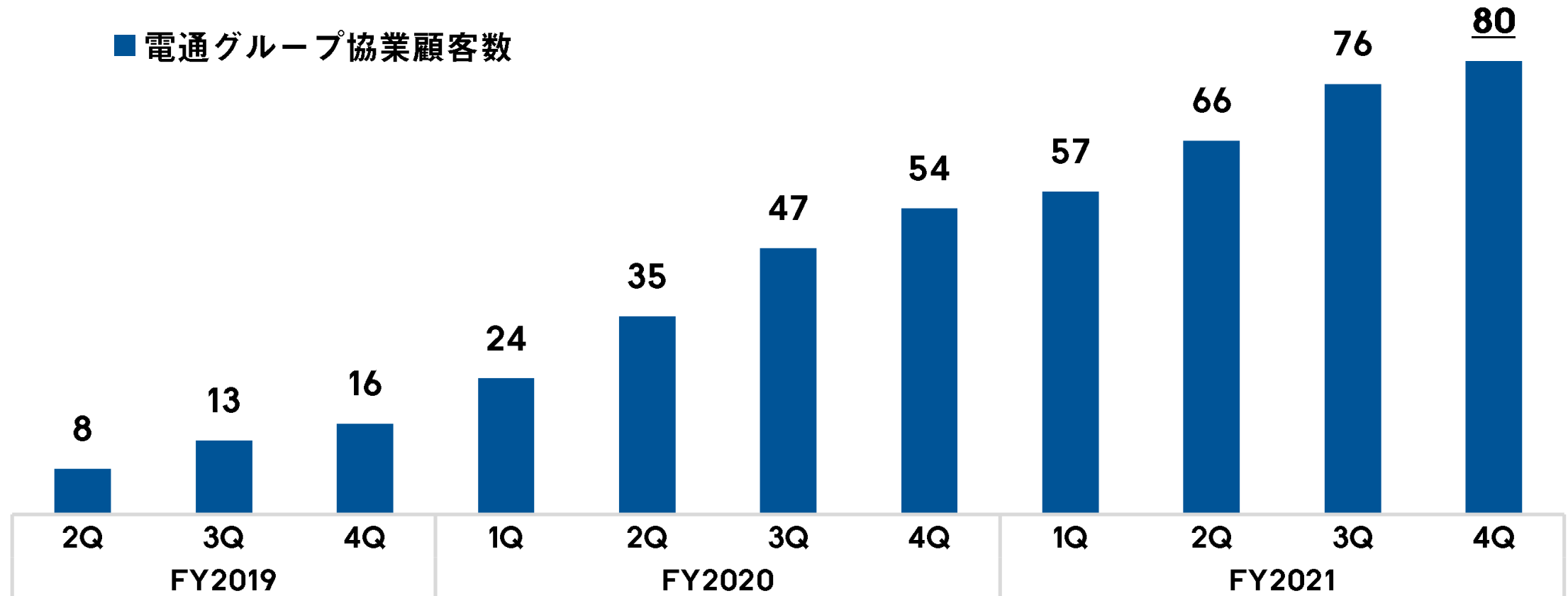


取扱高、構成比ともに過去最高を更新



前年同期比で協業顧客数が約1.5倍に拡大

■ 電通グループ協業顧客数



04

メディアプラットフォーム事業

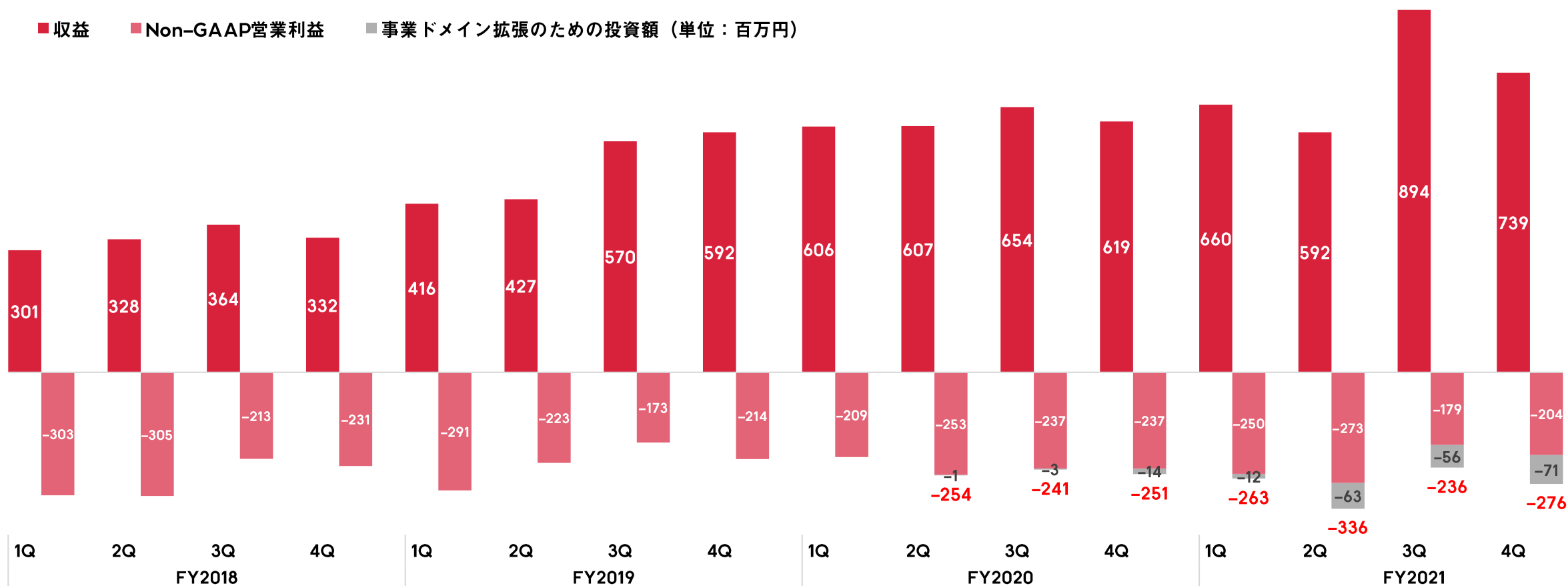
引き続き、D2C領域におけるコマース収益が伸長し増収

(単位：百万円)	2021年9月期 4Q			2020/ 9期 4Q		2021/ 9期 通期業績予想	進捗率
	金額	比率	前年同期比	金額	比率		
収 益	739	100.0%	+19.4%	619	100.0%	3,100	93.1%
売上総利益	397	53.7%	+18.1%	336	54.2%	—	—
販売管理費	688	93.2%	+17.2%	587	94.9%	—	—
Non-GAAP 営業利益	-276	—	-24	-251	—	-1,000	—
事業ドメイン拡張の ための投資額*	-71	—	—	-14	—	—	—

*新たな事業セグメントへの拡張と位置付けている事業群の営業損益合計額

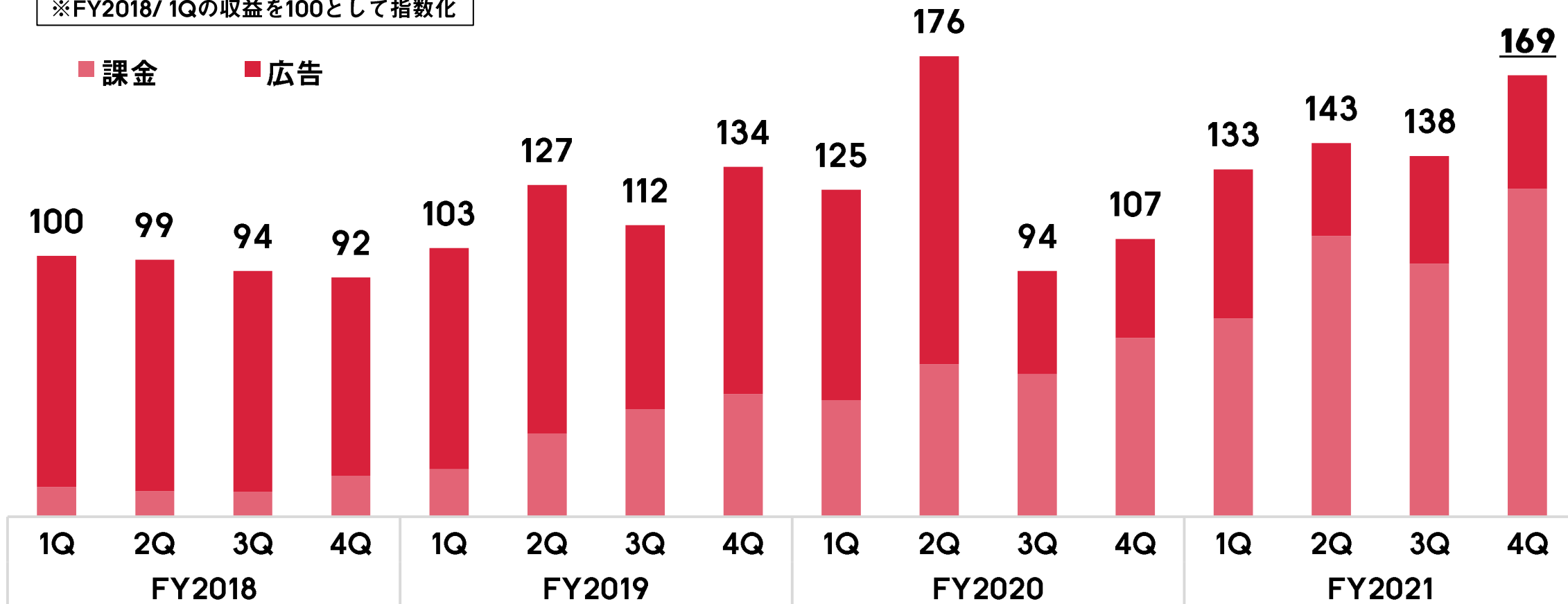
新たな事業ドメイン拡張のための投資額を除いた既存のメディアプラットフォーム事業は前年同期比で増収、赤字幅縮小

■ 収益 ■ Non-GAAP営業利益 ■ 事業ドメイン拡張のための投資額 (単位：百万円)



広告収益は前年同期比で増収、サブスクリプションと電子書籍がけん引し課金収益は大きく増加

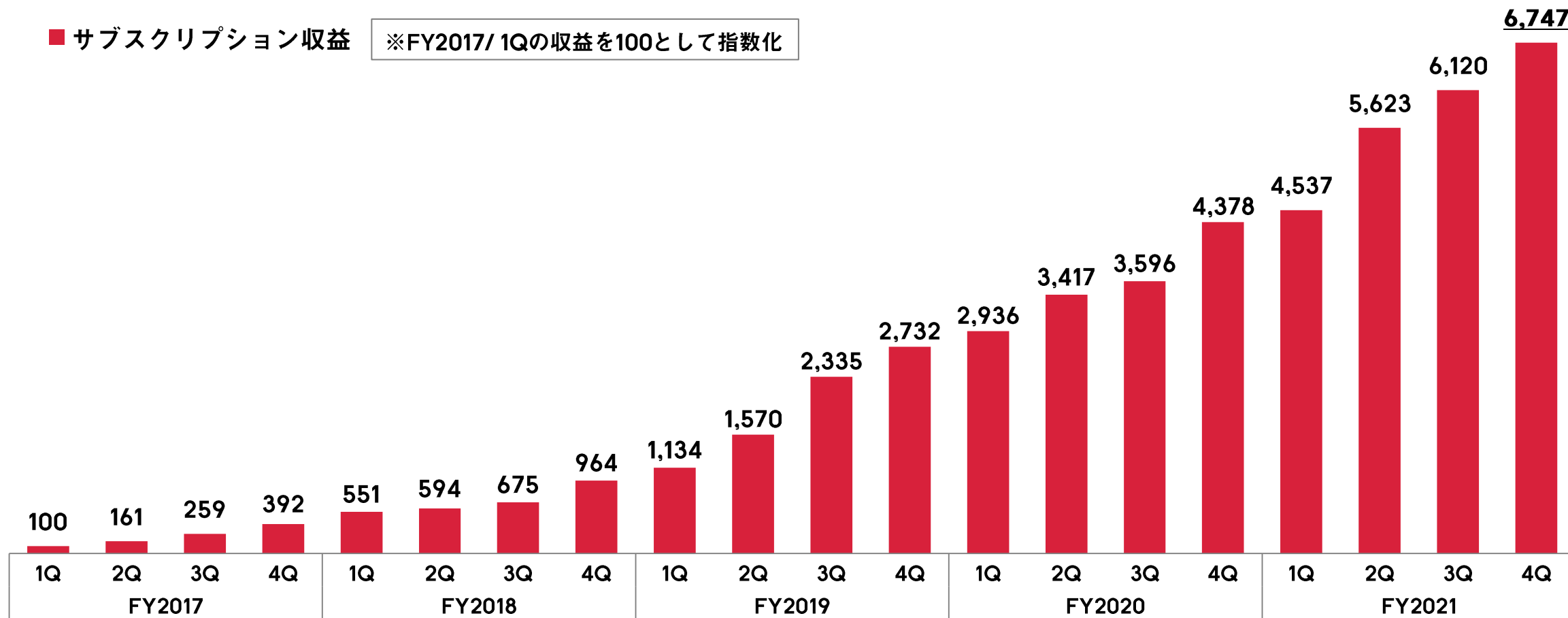
※FY2018/1Qの収益を100として指数化



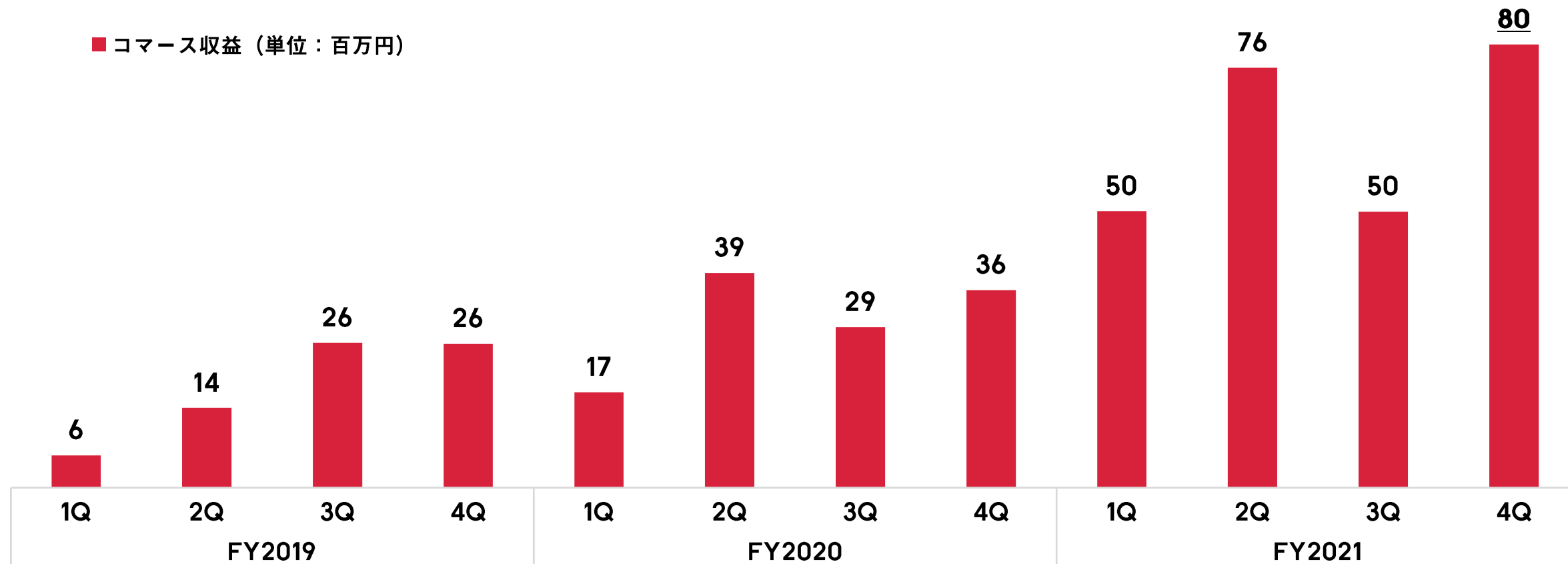
ユーザ数が順調に増加、前年同期比で約1.5倍に

■ サブスクリプション収益

※FY2017/1Qの収益を100として指数化



GANMA!人気作品「山田さんとLv.999の恋をする」がけん引し、
電子書籍販売の収益が大きく伸長



※コマース収益：電子書籍、クラウドファンディングを合計したコンテンツ販売収益

05

中期経営方針および業績予想について

既存ドメインの拡張

デジタル
マーケティング
事業

EC広告領域の展開強化

データ・ソリューション領域のグループ体制拡充

電通グループとの資本業務提携の深化

メディア
プラットフォーム
事業

ユーザ課金領域への注力

D2C領域の事業開発を強化

新たな事業
セグメント

業界フォーカスによりDX需要を取り込む

HRテクノロジー領域の事業化

新規ドメインへの拡張

これまでの成果

2018年に実施した資本業務提携により収益・生産性が飛躍的に向上

- 協業顧客数は直近で80社/Qまで増加、協業によって生まれた四半期売上高が直近1年で約3倍に成長
- 顧客単価が約2倍に増大
- 顧客単価の上昇により、1人当たり売上高が約35%上昇し生産性が大きく改善

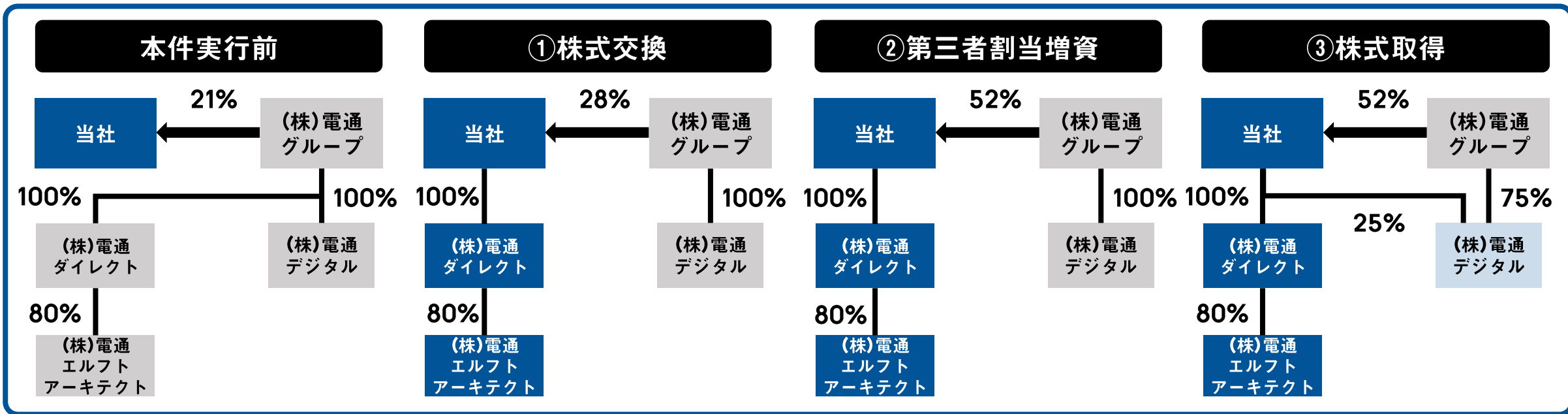
今回の資本業務提携による提携深化

デジタルマーケティング、データ・ソリューション領域での両社グループの協業を最大化させ国内デジタルマーケティング領域でNo.1を目指す

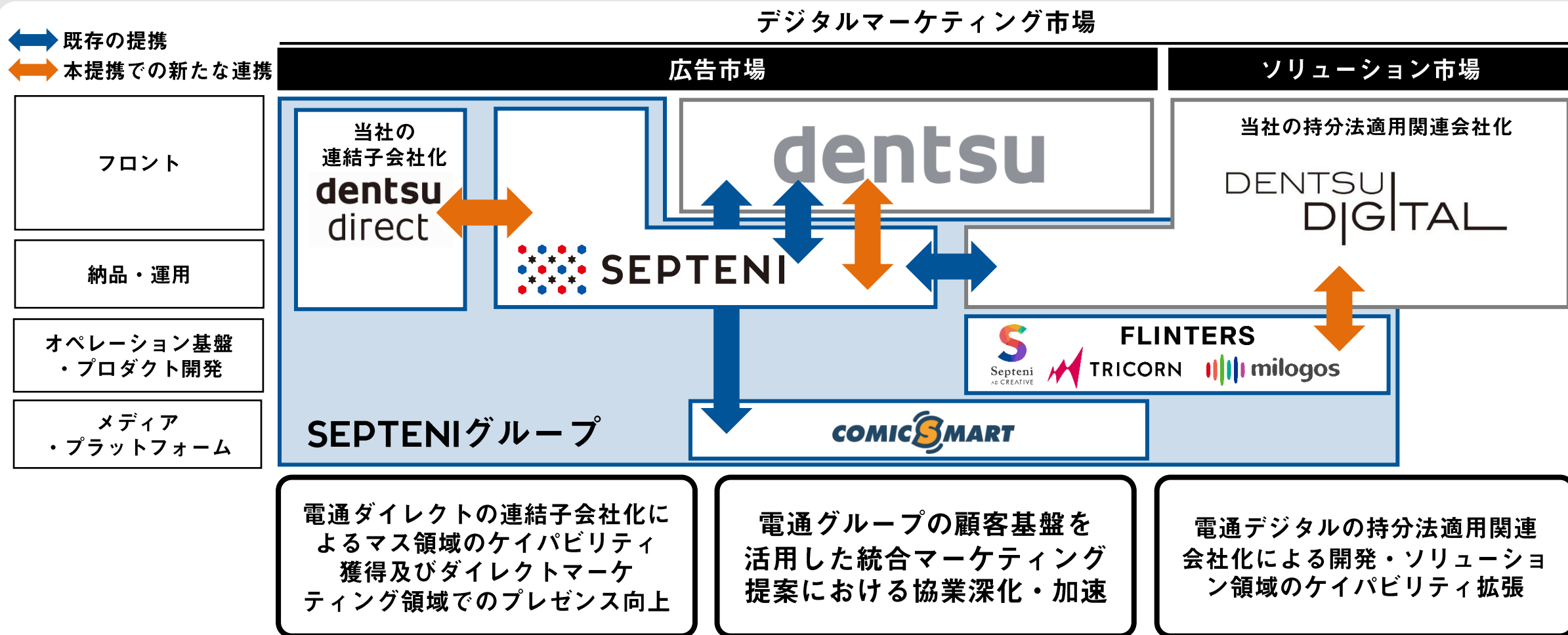
- 電通グループ商流拡大による新規協業・大型顧客の更なる獲得
- 電通ダイレクト社の連結子会社化による業績貢献、ダイレクトマーケティング領域のケイパビリティ獲得
- 電通デジタル社の持分法適用関連会社化による、ソリューション・開発領域の強化及び持分法投資損益の取り込み
- 事業基盤の統合推進により、BPO領域の共有や共同開発、調達力などの効率化によるシナジーの実現

本資本業務提携のスキーム

- ①電通グループ社の子会社である電通ダイレクト社を株式交換により当社の完全子会社化
(電通ダイレクト社株式1株に対して、当社の普通株式3,274株を割当て交付)
- ②電通グループ社を引受先とする第三者割当増資を実施
(当社普通株式70,118,794株、増資後の電通グループ社議決権割合52.01%、払込金額総額326.1億円)
- ③電通デジタル社株式を25%取得し当社の持分法適用関連会社化 (取得価額312.5億円)



領域・機能の両面において、これまで以上の協業シナジーを見込む



31 今回の資本業務提携における主な業務提携内容



両社の連携により、多様な才能を持った人材が集う働きがいあふれる組織環境を基盤として、顧客に対して最も優れたソリューションを提供することで業界の発展を牽引する、国内最大のデジタルマーケティングパートナーになることを目指す



SEPTENI



dentsu

デジタル
マーケ
ティング

電通グループ商流の拡大を通じた、デジタルマーケティング案件の協業加速

電通ダイレクト社と当社グループにおける、両社の強みを活かしたダイレクトマーケティング領域の強化及び共同でのソリューション開発

当社グループの広告運用領域及びクリエイティブ領域における電通グループとの連携拡大

データ
ソリューション

電通デジタル社との連携加速による、両社グループの開発体制強化及びプロダクト開発推進

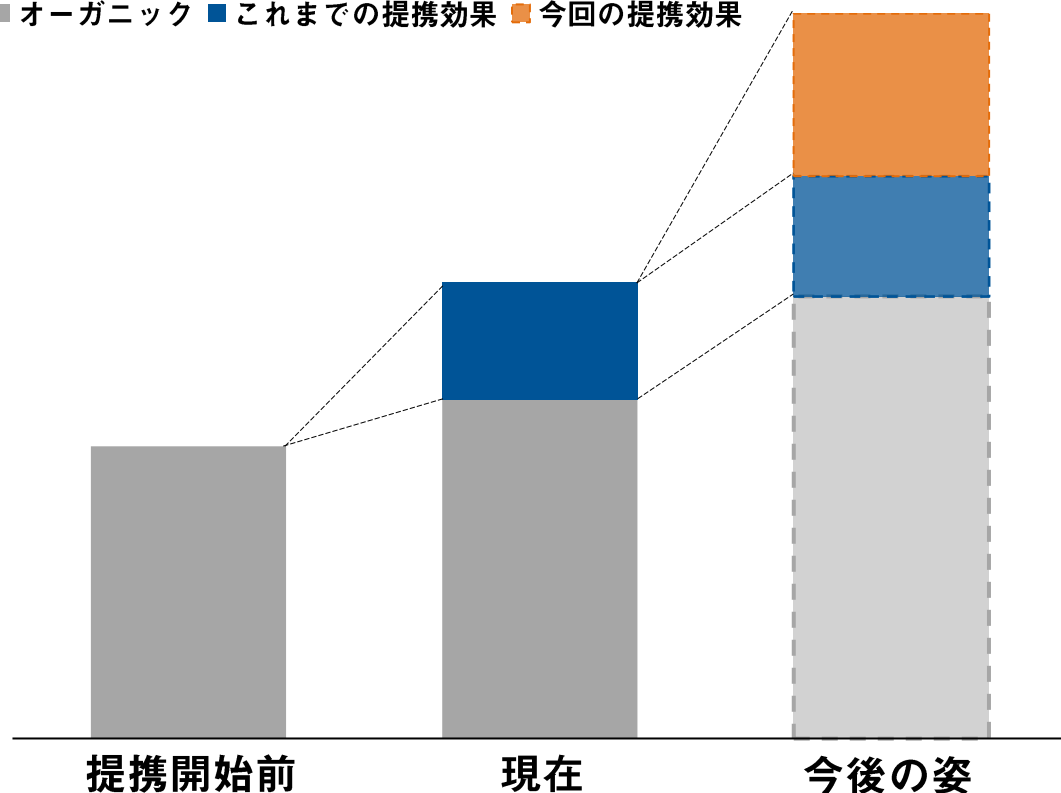
その他

デジタル人材の採用・育成に関する統合プログラム検討、ツールの相互活用 など

オーガニック成長および電通協業の拡大を通じて 市場平均を大きく上回る事業成長を目指す

今後の成長イメージ

■ オーガニック ■ これまでの提携効果 ■ 今回の提携効果



- ・ 商流拡大による新規協業・大型顧客の更なる獲得
- ・ 買収によるダイレクトマーケティング領域、出資による開発・ソリューション領域強化
- ・ 事業基盤の統合推進による複数領域でのシナジー

- ・ 電通グループが取り扱うデジタルマーケティング案件の広告運用支援
- ・ 両社グループの顧客基盤を活用したオン/オフの統合マーケティング提案 など

- ・ 提携を通じての成長市場におけるプレゼンス向上
- ・ 協業による組織基盤の強化 (人材・プロダクト開発)
- ・ 顧客単価の上昇による1人当たり生産性の向上

業績予想

2022/9期の業績予想につきましては、本資本業務提携の影響を鑑み、現時点で合理的な算定が困難であることから、未定とさせていただきます（業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします）

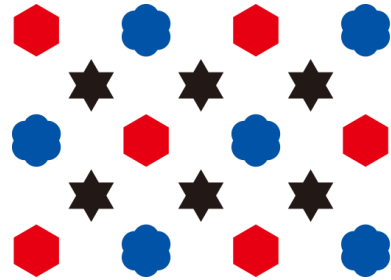
また、中期経営方針の3ヵ年計画につきましても、業績予想の開示が可能となった段階で併せてアップデートいたします

配当予想

2021/9期配当につきましては、1株3.4円を予定しております

2022/9期につきましては、本資本業務提携の影響を鑑み、未定とさせていただきます

本日はありがとうございました



SEPTENI

お問い合わせ先

セプテーニ・ホールディングス 経営企画部IR課

www.septeni-holdings.co.jp

E-mail : ir@septeni-holdings.co.jp

このプレゼンテーション資料に記載された弊社の将来に関する意見や予測及び計画は、2021年10月28日現在の弊社の判断であり、その正確性を保証するものではありません
世界情勢の変動に関わるリスクやその他様々な不確定要因により、実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります

06

補足資料

[ミッション]

ひとりひとりの
アントレプレナーシップで
世界を元気に

[ビジョン]

強く偉大な企業をつくる

[社是]

ひねらんかい

Speed

巧遅（こうち）より拙速（せつそく）。私たちは、「速さ」を優先し、トライアル&エラーを繰り返すことで、より高い完成度を目指します。

Stretch

目標は高く。私たちは、高い目標をクリアするためのイノベーションを大切にします。日々の変化の積み重ねが、目覚ましい成長につながります。

Partnership

互いに成長する。私たちは、全員が経営者の目線に立ち、切磋琢磨し、協力することで、より良い企業体を創り上げます。

Fair & Open

わかりやすく、公平に。
私たちは、フェアでオープンな環境、関係を築きます。

Diversity

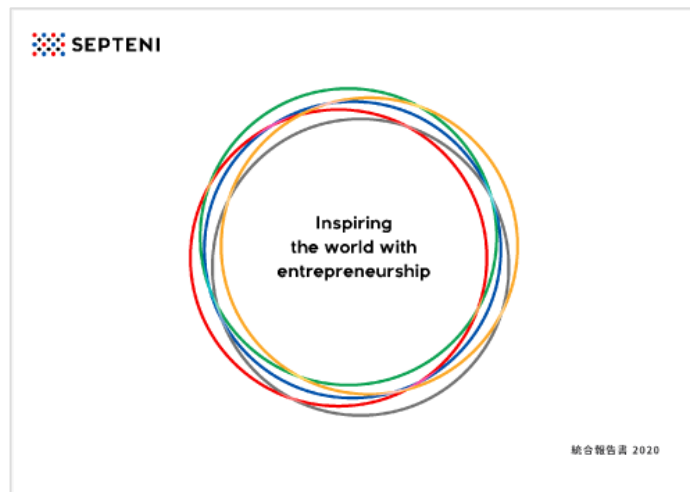
ダイバーシティを競争力に。私たちは、あらゆる人権を尊重し、多様性を認め合い、ひとりひとりの強みが発揮される働き方を実現します。

Passion

情熱を持ち続ける。私たちは、情熱が能力を高め、結果を生み出す持続力になると考えます。自己成長によって企業成長を促し、社会に貢献していきます。

Free & Rule

規律と自由。私たちは、損得より善悪で判断し、関連する法令と法の精神を遵守し、厳しく、楽しく、自らの仕事に熱中します。



統合報告書2020

2020年度版統合報告書を発刊しました
当社グループの中長期での経営方針と事業戦略、
事業活動における価値創造の全体像を公開しております

詳細は当社ウェブサイト (https://www.septeni-holdings.co.jp/ir/library/integrated-report/integratedreport2020_ja.pdf)、
もしくは右のQRコードからご覧ください



セプターニグループ公式note

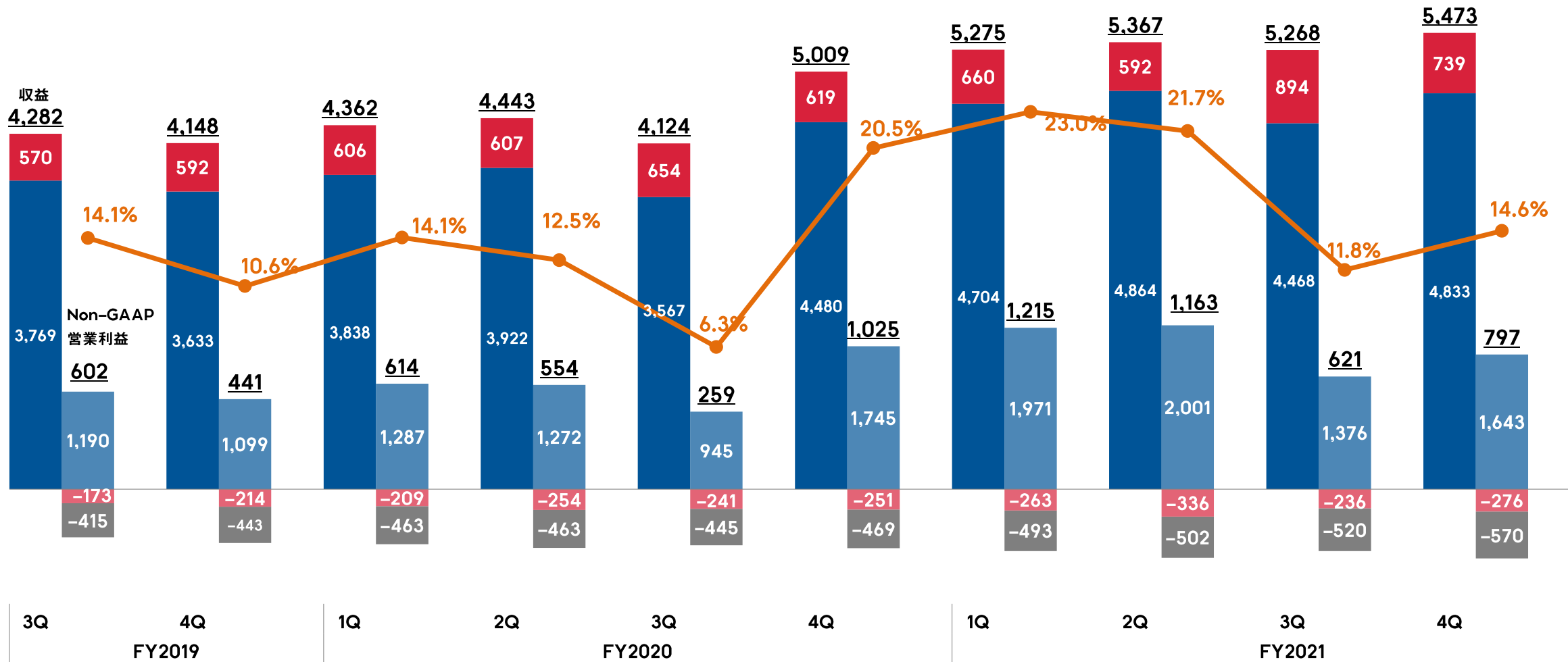
2019年12月よりグループの公式noteをはじめました
統合報告書や開示資料には載せきれていない、
人やカルチャーにまつわる様々な取り組みを紹介しています

詳細は以下URL (https://note.com/septeni_group)、
もしくは右のQRコードからご覧ください



38 連結業績四半期推移 (セグメント別)

■ デジタルマーケティング ■ メディアプラットフォーム ■ 調整額 (全社費用等) (単位: 百万円) ● 営業利益率 (対収益)



※セグメント間収益の消去分の記載を省略しているため、各事業収益の合計と連結収益 (下線付数値) は一致しない

39 デジタルマーケティング事業 四半期推移



(単位：百万円)	FY2019		FY2020				FY2021			
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
売上高 (取扱高)	17,639	18,770	18,524	16,041	21,393	22,605	24,370	22,791	25,839	
収益	3,633	3,838	3,922	3,567	4,480	4,704	4,864	4,468	4,833	
国内収益	3,356	3,468	3,702	3,380	4,293	4,429	4,607	4,182	4,536	
海外収益	277	370	220	187	187	275	257	285	297	
海外収益比率	7.6%	9.6%	5.6%	5.2%	4.2%	5.8%	5.3%	6.4%	6.1%	
収益比率 (対売上高)	20.6%	20.4%	21.2%	22.2%	20.9%	20.8%	20.0%	19.6%	18.7%	
Non-GAAP営業利益	1,099	1,287	1,272	945	1,745	1,971	2,001	1,376	1,643	
Non-GAAP営業利益率 (対収益)	30.2%	33.5%	32.4%	26.5%	38.9%	41.9%	41.1%	30.8%	34.0%	
ブランド広告取扱高 (億円)	13.5	15.0	16.9	13.0	18.6	22.9	20.8	23.1	28.1	
ブランド広告構成比	7.6%	8.0%	9.1%	8.1%	8.7%	10.1%	8.6%	10.1%	10.9%	
電通グループ協業顧客数	16	24	35	47	54	57	66	76	80	

40 メディアプラットフォーム事業 四半期推移



	FY2019		FY2020			FY2021				
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
マンガコンテンツ事業収益（指数）※1	134	125	176	94	107	133	143	138	169	
サブスクリプション収益（指数）※2	2,732	2,936	3,417	3,596	4,378	4,537	5,627	6,120	6747	
GANMA! ARPU（円）※3 ※4	60.5	51.3	39.8	31.9	29.9	44.0	75.6	67.7	94.1	
マンガコンテンツ事業 コマース収益（百万円）	26	17	39	29	36	50	76	50	80	
事業ドメイン拡張のための投資額 （百万円）	—	—	-1	-3	-14	-12	-63	-56	-71	

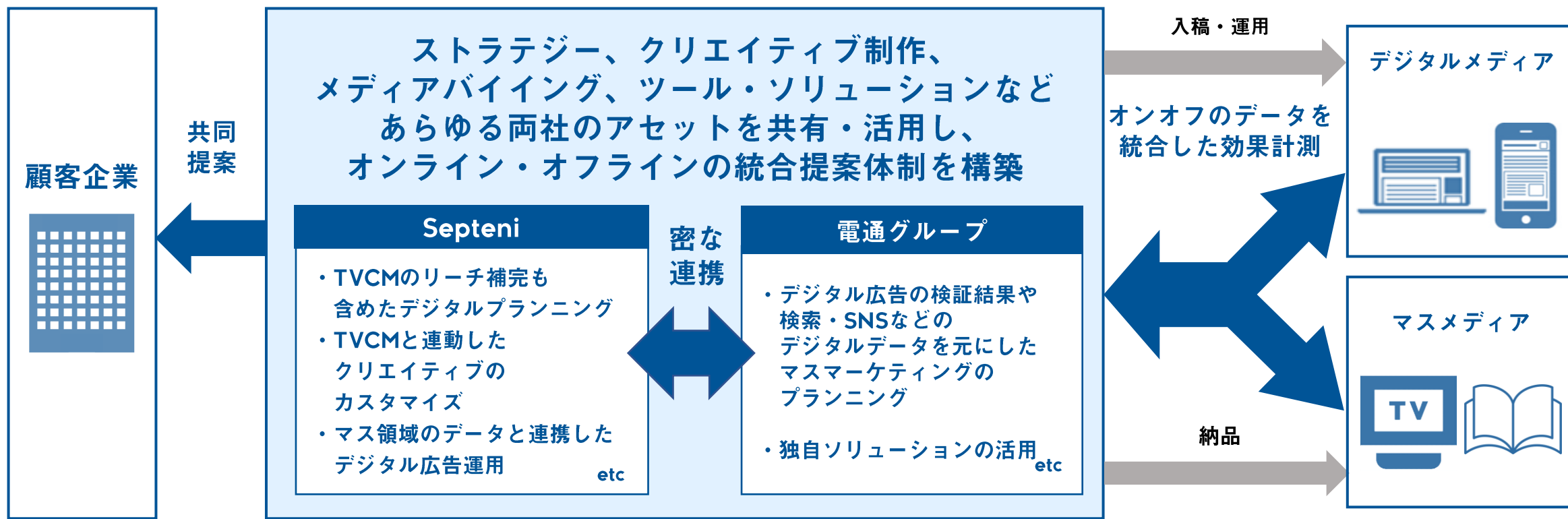
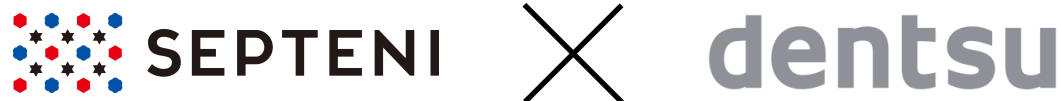
※1 FY2018/1Qの収益を100として指数化

※2 FY2017/1Qの収益を100として指数化

※3 毎Qの最終月の数値を表示

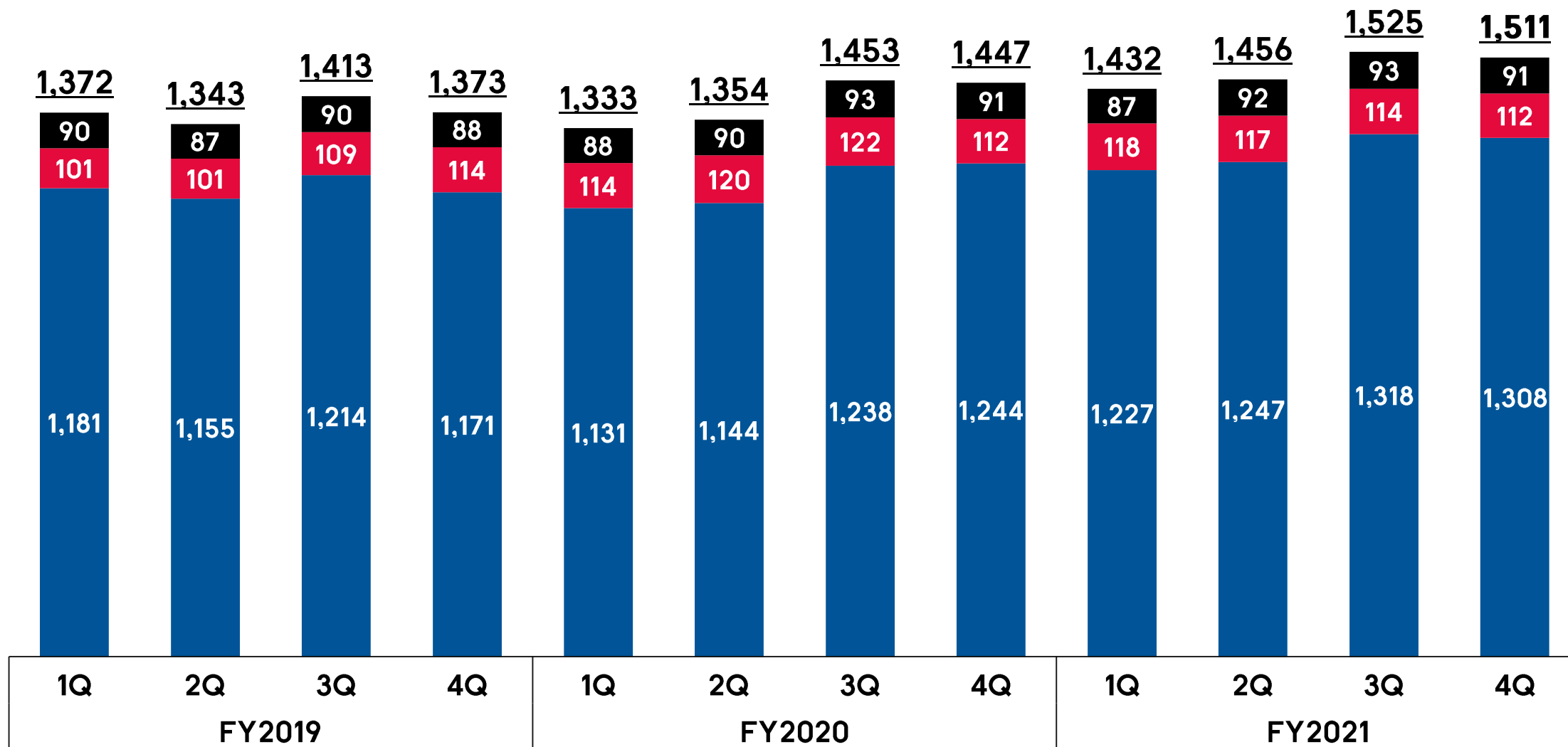
※4 FY2021 2Qの数値について誤りがあったため修正

両社の顧客基盤を活用したオンライン・オフライン広告の 統合マーケティング提案（イメージ）



42 連結従業員数推移

■ デジタルマーケティング事業 ■ メディアプラットフォーム事業 ■ 持株会社 (単位: 名)



純粋持株会社

セプテーニ・ホールディングス

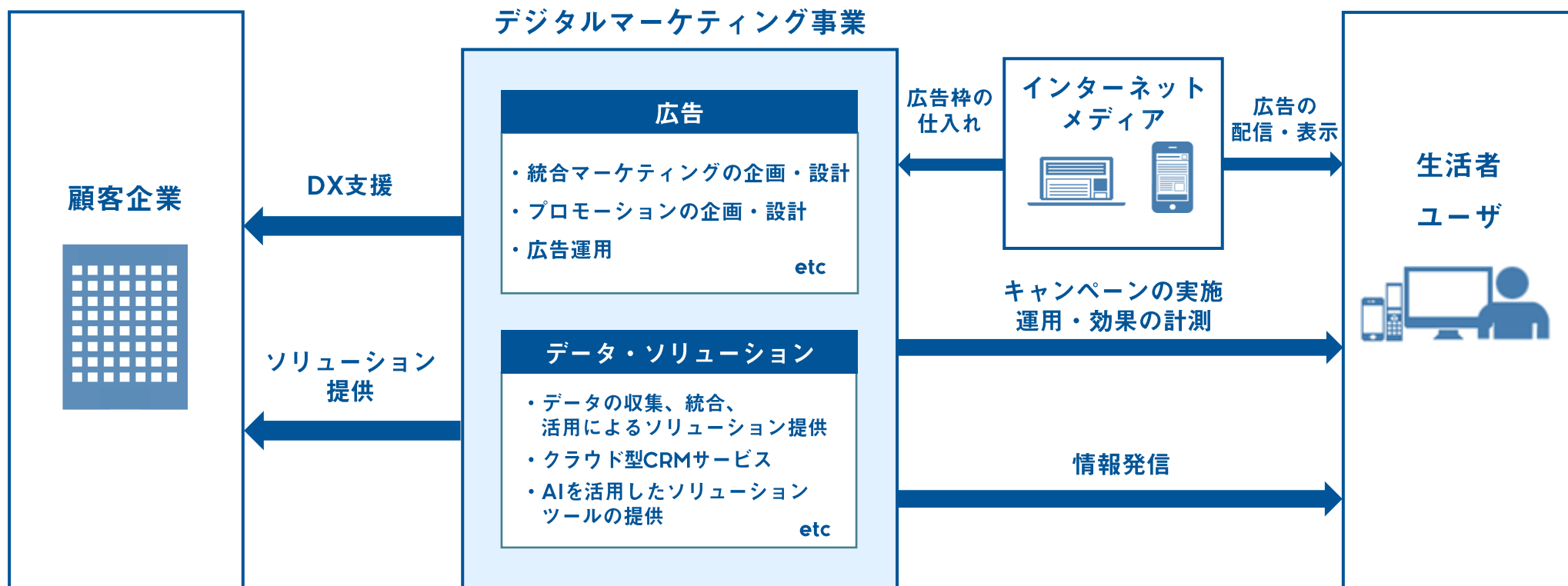
デジタルマーケティング事業

Septeni Japan	デジタルマーケティング支援事業	FLINTERS	データ・ソリューション領域における企画、開発、販売
セプテーニ・クロスゲート	アドネットワーク、プラットフォーム事業	トライコーン	CRMサービス事業
Septeni America	北米地域におけるデジタルマーケティング支援事業	ミロゴス	デジタルマーケティング支援事業
Lion Digital Global	東南アジア地域におけるデジタルマーケティング支援事業	JNJ INTERACTIVE	韓国におけるデジタルマーケティング支援事業

メディアプラットフォーム事業

コミックスマート	マンガコンテンツ事業	gooddo	社会貢献プラットフォーム事業
ビビビット	採用プラットフォーム事業	TowaStela	育児プラットフォーム事業
デライトチューブ	インターネットメディアの企画、制作、運営	新規事業開発	セプテーニ・インキュベート

デジタル広告の販売と運用をはじめ、データ、AIを活用したソリューションの提供、電通グループとの提携によるオンライン・オフライン統合によるマーケティング支援等、デジタルマーケティングを中心として、
企業のデジタルトランスフォーメーション (DX) における総合的な支援を行う



「マンガコンテンツ事業」では、**自社IP(知的財産)の企画・開発**を目的にマンガ家の育成・支援を手がけるとともに、専属作家によるオリジナル作品を中心に構成されたマンガアプリ「GANMA!」を**自社メディア**として運営

その他に、社内ベンチャーから生まれた新規事業として、「採用」「社会貢献」「育児」に関するプラットフォーム型の事業等を展開



(単位：百万円)	2021年9月期 期末	2020年9月期 期末	増減
流動資産合計	33,452	27,373	+6,079
非流動資産合計	8,560	7,052	+1,508
資産合計	42,011	34,425	+7,586
流動負債合計	20,329	15,314	+5,015
非流動負債合計	3,237	3,299	-62
負債合計	23,566	18,613	+4,953
資本合計	18,445	15,811	+2,634
負債及び資本合計	42,011	34,425	+7,586

※ 2020年9月期よりIFRS16（リース会計基準）の適用に伴い、将来において支払うべき賃借料等を資産の部における使用权資産、負債の部におけるその他の金融負債として計上